



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月8日

上場会社名 前澤給装工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 6485 URL <http://www.qso.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾崎 武壽

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部経理部長 (氏名) 前田 近 TEL 03-3716-1512

四半期報告書提出予定日 平成22年11月8日 配当支払開始予定日 平成22年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	10,341	△8.9	784	△33.2	793	△32.8	447	△33.9
22年3月期第2四半期	11,348	△9.9	1,174	15.7	1,179	10.0	676	13.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	37.19	—
22年3月期第2四半期	57.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	35,545	26,478	74.5	2,200.25
22年3月期	35,995	26,453	73.5	2,198.18

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 26,478百万円 22年3月期 26,453百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	15.00	—	20.00	35.00
23年3月期	—	15.00	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	20.00	35.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,150	2.3	2,310	8.2	2,330	11.1	1,350	14.0	112.18

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ー）、除外 一社（社名 ー）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期2Q	16,005,600株	22年3月期	16,005,600株
② 期末自己株式数	23年3月期2Q	3,971,356株	22年3月期	3,971,163株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期2Q	12,034,335株	22年3月期2Q	11,829,488株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により、上記予想数値と異なる場合があります。

なお、上記予想については添付資料の3ページを参照してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(第2四半期連結累計期間)	6
(第2四半期連結会計期間)	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	11
生産、受注及び販売の状況	11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

① 全般の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アジア経済の回復に伴う輸出の増加等から回復の動きを示しておりましたが、円高の進行による輸出の鈍化から足踏み状態になるなど先行きの不透明感は増してまいりました。

当社グループの属する給水装置業界は、政府の住宅市場に対する優遇措置（住宅版エコポイント、税制優遇など）により、新設住宅着工戸数は前年同期比でプラスに転じるなど持ち直しの動きが見られました。

このような環境下、当社グループは製品のコストダウンを図るとともに施工性の良い製品などを市場に投入し販売強化を図ってまいりました。加えて、水道メータや暖房管などの販路拡大の営業活動を推進してまいりました。

しかしながら、分止水栓等の販売が依然低調に推移し、売上高につきましては前年同期比8.9%減の103億41百万円となりました。収益面につきましては、当社主要原材料である銅の価格が前年比大幅に高い水準で推移したことなどから、営業利益は前年同期比33.2%減の7億84百万円、経常利益は前年同期比32.8%減の7億93百万円、四半期純利益は前年同期比33.9%減の4億47百万円となりました。

② セグメント別の状況

(百万円)

	売上高 (外部顧客への売上高)	セグメント利益
	当第2四半期	当第2四半期
埋設事業	6,213	1,927
地上事業	1,972	494
商品販売事業	1,871	203
計	10,057	2,626
その他	284	85
合計	10,341	2,711

(注) 第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

〔埋設事業〕

埋設事業におきましては、お客様に喜ばれる施工性の良い製品を市場に投入するとともに、競合の激しい分野につきましては、コストダウンを実現し適正な価格で提供できるよう営業活動を推進してまいりました。水道メータにつきましては、前年同期間を上回る売上高を確保しましたが、公共事業の減少、価格面での競争の激化から埋設事業全体の売上高は62億13百万円、セグメント利益は19億27百万円となりました。

〔地上事業〕

地上事業におきましては、施工性に加え作業効率の良い製品を市場に投入し営業活動を推進してまいりました。暖房管等につきましては、前年同期間を上回る売上高を確保しましたが、給水給湯システム（QUMEX）の需要が低調で地上事業全体の売上高は19億72百万円、セグメント利益は4億94百万円となりました。

〔商品販売事業〕

商品販売事業は、製品に関連する仕入商品の販売であり、売上高は18億71百万円、セグメント利益は2億3百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は355億45百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億49百万円減少いたしました。

流動資産は229億40百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億81百万円減少いたしました。これは主に、商品及び製品が1億48百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が4億94百万円減少、有価証券が5億円減少したこと等によるものであります。

固定資産は126億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億32百万円増加いたしました。これは主に、有形固定資産が2億65百万円減少しましたが、投資有価証券が4億64百万円、保険積立金が2億57百万円増加したこと等によるものであります。

負債は90億67百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億73百万円減少いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が1億63百万円増加しましたが、社債（1年内償還予定の社債を含む）が3億80百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は264億78百万円となり、前連結会計年度末に比べ24百万円増加いたしました。これは主に、その他有価証券評価差額金が1億36百万円減少しましたが、利益剰余金が2億6百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の業績予想につきましては、平成22年5月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

固定資産の年度中の取得、売却及び除却等の見積りを考慮した予算を策定しているため、当該予算に基づく年間償却予定額を期間按分して算定しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 会計処理基準に関する事項の変更

資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）および「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

② 表示方法の変更

（連結四半期損益計算書）

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第2四半期連結累計期間および当第2四半期連結会計期間は、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

また、前第2四半期連結累計期間および前第2四半期連結会計期間において、営業外収益の「雑収入」に含めて表示しておりました「スクラップ売却益」は、営業外収益総額の100分の20を超えたため、当第2四半期連結累計期間および当第2四半期連結会計期間では区分掲記することとしました。なお、前第2四半期連結累計期間の営業外収益の「雑収入」に含まれる「スクラップ売却益」は2百万円で、前第2四半期連結会計期間の営業外収益の「雑収入」に含まれる「スクラップ売却益」は0百万円であります。

③ 追加情報

連結子会社QSOインダストリアル株式会社は、従来、役員の退職金の支払に備えるため、内規に基づく要支給額を役員退職慰労引当金として計上しておりましたが、平成22年5月20日開催の取締役会において、役員退職慰労金制度を平成22年6月21日の定時株主総会終結の時をもって廃止することを決議し、平成22年6月21日の定時株主総会において、役員退職慰労金制度廃止に伴う打ち切り支給の件が承認可決されております。

これに伴い、同日までの役員退職慰労引当金を全額「長期未払金」に振替え、固定負債の「その他」に含めて表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,326	8,464
受取手形及び売掛金	8,219	8,714
有価証券	2,500	3,000
商品及び製品	2,778	2,629
仕掛品	112	48
原材料及び貯蔵品	680	653
繰延税金資産	164	175
その他	164	141
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	22,940	23,822
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,970	7,935
減価償却累計額	△4,941	△4,850
建物及び構築物(純額)	3,028	3,085
機械装置及び運搬具	7,690	7,731
減価償却累計額	△6,566	△6,465
機械装置及び運搬具(純額)	1,124	1,266
土地	5,030	5,030
建設仮勘定	—	39
その他	2,819	2,798
減価償却累計額	△2,617	△2,568
その他(純額)	202	230
有形固定資産合計	9,385	9,651
無形固定資産		
投資その他の資産	105	139
投資有価証券	1,851	1,386
長期貸付金	18	10
保険積立金	1,095	838
繰延税金資産	3	1
その他	171	169
貸倒引当金	△26	△25
投資その他の資産合計	3,113	2,381
固定資産合計	12,604	12,172
資産合計	35,545	35,995

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,558	4,394
1年内償還予定の社債	360	400
1年内返済予定の長期借入金	1,022	1,045
未払法人税等	322	388
賞与引当金	197	203
役員賞与引当金	7	21
その他	633	662
流動負債合計	7,101	7,116
固定負債		
社債	1,260	1,600
繰延税金負債	5	68
退職給付引当金	606	654
役員退職慰労引当金	—	22
その他	93	79
固定負債合計	1,965	2,425
負債合計	9,067	9,541
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,358	3,358
資本剰余金	3,711	3,711
利益剰余金	25,100	24,893
自己株式	△5,916	△5,916
株主資本合計	26,253	26,046
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	379	515
為替換算調整勘定	△154	△108
評価・換算差額等合計	224	406
純資産合計	26,478	26,453
負債純資産合計	35,545	35,995

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	11,348	10,341
売上原価	7,539	7,047
売上総利益	3,809	3,293
販売費及び一般管理費	2,634	2,509
営業利益	1,174	784
営業外収益		
受取利息	1	3
有価証券利息	3	3
受取配当金	16	12
スクラップ売却益	—	14
雑収入	16	8
営業外収益合計	38	43
営業外費用		
支払利息	12	12
売上割引	8	10
為替差損	11	5
雑損失	0	5
営業外費用合計	32	34
経常利益	1,179	793
特別利益		
固定資産売却益	—	0
投資有価証券受贈益	—	8
主要株主株式短期売買利益返還益	8	—
特別利益合計	8	9
特別損失		
固定資産除却損	6	3
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	2
会員権評価損	—	0
解約金	—	0
特別損失合計	6	7
税金等調整前四半期純利益	1,181	795
法人税、住民税及び事業税	462	316
法人税等調整額	42	30
法人税等合計	505	347
少数株主損益調整前四半期純利益	—	447
四半期純利益	676	447

(第2四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)
売上高	6,228	5,806
売上原価	4,192	3,962
売上総利益	2,035	1,844
販売費及び一般管理費	1,315	1,273
営業利益	720	570
営業外収益		
受取利息	1	3
有価証券利息	1	1
受取配当金	0	0
為替差益	4	—
スクラップ売却益	—	10
雑収入	6	2
営業外収益合計	14	19
営業外費用		
支払利息	6	5
売上割引	5	6
為替差損	—	8
雑損失	0	2
営業外費用合計	11	22
経常利益	723	567
特別利益		
主要株主株式短期売買利益返還益	8	—
特別利益合計	8	—
特別損失		
固定資産除却損	4	2
解約金	—	0
特別損失合計	4	3
税金等調整前四半期純利益	727	564
法人税、住民税及び事業税	234	190
法人税等調整額	67	59
法人税等合計	302	249
少数株主損益調整前四半期純利益	—	314
四半期純利益	425	314

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,181	795
減価償却費	461	349
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	7	△47
賞与引当金の増減額 (△は減少)	0	△5
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△9	△14
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△13	0
受取利息及び受取配当金	△21	△20
支払利息	12	12
社債保証料	—	4
為替差損益 (△は益)	11	5
売上債権の増減額 (△は増加)	1,053	489
たな卸資産の増減額 (△は増加)	587	△236
仕入債務の増減額 (△は減少)	△332	164
未払消費税等の増減額 (△は減少)	47	△81
その他	△54	22
小計	2,932	1,440
利息及び配当金の受取額	22	20
利息の支払額	△12	△12
社債保証料の支払額	—	△4
法人税等の支払額	△346	△377
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,596	1,065
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△211	—
有価証券の取得による支出	—	△500
有価証券の償還による収入	150	500
投資有価証券の取得による支出	—	△675
投資有価証券の売却による収入	—	9
有形固定資産の取得による支出	△141	△95
有形固定資産の売却による収入	—	1
無形固定資産の取得による支出	△5	△8
保険積立金の積立による支出	△34	△257
保険積立金の解約による収入	29	—
貸付けによる支出	—	△13
貸付金の回収による収入	1	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△211	△1,034
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△273	△23
社債の償還による支出	—	△380
配当金の支払額	△295	△240
自己株式の取得による支出	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△568	△643
現金及び現金同等物に係る換算差額	27	△17
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,844	△630
現金及び現金同等物の期首残高	6,110	10,750
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,954	10,120

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第2四半期連結会計期間（自平成21年7月1日至平成21年9月30日）および前第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日至平成21年9月30日）

当社グループは水道用給水装置機材器具関連の製造・販売のみを行っており、単一セグメントに該当するため記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前第2四半期連結会計期間（自平成21年7月1日至平成21年9月30日）および前第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日至平成21年9月30日）

本邦の売上高の金額は、全セグメントの売上高の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

前第2四半期連結会計期間（自平成21年7月1日至平成21年9月30日）および前第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日至平成21年9月30日）

海外売上高がないため該当事項はありません。

〔セグメント情報〕

（追加情報）

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社の売上構成は、埋設製品、地上製品、商品販売で成り立っていることから、「埋設事業」、「地上事業」および「商品販売事業」の3つを報告セグメントとしております。

「埋設事業」は、道路に布設されている配水管から分かれて、各家庭に引き込むための水道用給水装置であるサドル付分水栓・止水栓・各種継手類、水道メータなどを製造、販売しております。

「地上事業」は、宅内での給水給湯配管部材、暖房設備部材およびこれらをユニット化した給水給湯システムなどを製造、販売しております。

「商品販売事業」は、製品に関連する仕入商品を販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	埋設	地上	商品販売	計				
売上高								
外部顧客への売上高	6,213	1,972	1,871	10,057	284	10,341	—	10,341
セグメント間の内部売上高 または振替高	0	208	14	223	439	662	△662	—
計	6,213	2,180	1,886	10,280	723	11,003	△662	10,341
セグメント利益	1,927	494	203	2,626	85	2,711	△1,927	784

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△19億27百万円は、主に各報告セグメントに配分されていない全社費用を含んでおります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	埋設	地上	商品販売	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,544	1,041	1,043	5,628	177	5,806	—	5,806
セグメント間の内部売上高 または振替高	0	116	8	124	231	355	△355	—
計	3,544	1,157	1,051	5,753	408	6,161	△355	5,806
セグメント利益	1,044	329	120	1,495	47	1,542	△971	570

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△9億71百万円は、主に各報告セグメントに配分されていない全社費用を含んでおります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産実績

当第2四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	前年同四半期比 (%)
埋設 (百万円)	6,364	—
地上 (百万円)	2,233	—
合計 (百万円)	8,597	—

- (注) 1. 金額は販売価格で表示しております。
2. 上記金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 商品仕入実績

当第2四半期連結累計期間の仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	前年同四半期比 (%)
商品販売 (百万円)	1,582	—
その他 (百万円)	293	—
合計 (百万円)	1,876	—

- (注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。
2. 金額は仕入価格で表示しております。
3. 上記金額には消費税等は含まれておりません。

(3) 受注状況

当第2四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(百万円)	前年同四半期比 (%)
その他	50	—	120	—

- (注) 上記金額には消費税等は含まれておりません。

(4) 販売実績

当第2四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	前年同四半期比 (%)
埋設 (百万円)	6,213	—
地上 (百万円)	1,972	—
商品販売 (百万円)	1,871	—
その他 (百万円)	284	—
合計 (百万円)	10,341	—

- (注) セグメント間の取引については相殺消去しております。